

秋の楽しい収穫祭を想像してサツマイモの苗を植えました！

隊友会東播支部 石田支部長以下13名は4月25日（土）8時30分に借用している畑に集合し、目標としている19列の植え付け用の畝の作成を開始した。天候としては恵まれていたものの、前日までの雨などの影響で作業が難航し、午前中の作業で約10列の畝が完成し、黒マルチを掛けるところまで行うことができました。作業としては、次回作業予定日に完成させることとして解散しました。

【1月24日】先行的に畝戻し実施



【4月25日】畝作成開始



【4月25日】完成した10列の畝と参加者の面々



そして、5月9日（土）8時30分から17名の役員および会員で引き続きの作業を開始しました。

作業前の数日間の天候もよく、当日も曇り空で絶好の作業日和となり、残りの9列の畝の完成、黒マルチ掛け、200本の苗の植え付け、水やりのほかに、害獣（猪・鹿）対策用の防護柵と防護ネットを設置して13時頃に作業を完成させ解散となりました。

作業としては、まだまだ石も多くまた固くなった土との戦いで非常に重労働であるため、逐次休憩を取り暑さ対策として、水分補給・食料補給・歓談を取り入れ、和気あいあいとした雰囲気の中で行うことができました。

【5月9日】残り9列 畝作り開始



【5月9日】苗の植付けと害獣対策実施中



まだ、現状としては、半分以下の畝への植え付けが終了した段階であり、今後植え付けた芋の蔓が生育していく段階で苗収穫用に剪定して植え付けを行う予定であり、概ね6月中・下旬頃まで作業が続きます。畑の水やり、畑内・畑周囲の草取り・草刈り、芋の生育に合わせた諸作業については、畑近傍の役員・会員の皆さんが一生懸命手をかけて行っていただいております、秋の楽しい収穫祭の最大の功労者であります。

今年も、昨年同様に基幹駐屯地である青野原駐屯地の隊員は過密な訓練が待ち受けている状況とお聞きしており、10月と11月の2回に分けて収穫を予定し、どちらかに参加できるように配慮していく予定です。毎年、参加するお子さんの笑顔を見ることができる支部最大のイベントであるため、労を惜しまず頑張っていきたいところではありますが、天敵は夏の暑さであり、対策をしっかりとって素晴らしい芋が収穫できるよう努力するのみです。

作業終了後のサツマイモ畑と参加者の面々

